

別記第2号様式

令和7年度
北海道高等学校PTA連合会「高校生と語るつどい」事業
実施報告書

令和7年11月26日

北海道高等学校PTA連合会 会長様

北海道高等学校PTA連合会釧路支部
支部長 滝澤雅博
(当番校名 釧路明輝高校)

本事業が、令和7年10月25日完了したので、次のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1 事業実施概要

(1) 期日 令和7年10月25日（土曜日） 9時15分から
令和7年10月25日（土曜日） 12時00分まで

(2) 会場 釧路市生涯学習センター

(3) 実施形態

・**ワールドカフェ方式**・従来方式

(4) 参加者等

ア 参加学校 12校

(校名：釧路湖陵、釧路江南、釧路工業、釧路商業、釧路北陽
釧路東、厚岸翔洋、霧多布、標茶、阿寒、白糠、釧路明輝)

イ 参加者総数 63名

生徒数	引率数	保護者数	運営者数	その他	合計
33名	12名	13名	5名	0名	63名

(5) 事業内容

ア 事業の概要

生徒・保護者・教員が課題に対して意見交換・討論することにより、多世代かつ初対面の人と直接的な対話を経験することやそれぞれの立場の理解を深める。

イ 講師 NEONE 代表 馬場航平様

ウ テーマ テーマ①地震・津波災害に対しての備えについて

(避難所運営ゲーム北海道版を実施します)

テーマ②各学校のいじめ問題等に対する対策及び取組について

2 事業実施による成果

- (1) テーマ① 避難所運営を疑似体験することにより、今まででは他人事であった避難所での生活がとても身近に感じることができた。また、立場や年生の違いからの視点の違いを感じることができた。
- (2) テーマ② いじめは許されないものであるが、どこででも誰にでも凝りえることであることを再確認することができた。

3 今後の課題等

- (1) 参加者について、生徒数に対して大人(保護者・教員)の数が少なかった。早い時期に各校への参加期待数を含めた案内を送ったが、参加者数は前回(釧路開催)とそれほど変わりはなかった。
- (2) 例年「いじめ」をはじめとして生徒指導に関わるテーマで行われていたが、今年は防災(減災)についての実習も行った。参加者からは好評であった。

<記入上の留意事項>

- 1 「1(5) 内容」には、活動の内容を具体的に記載すること。
- 2 「2 事業実施による成果」には、当該事業により生徒・保護者・学校・地域・家庭等への期待される効果等について、詳細に記載すること。
- 3 「3 今後の課題等」には、来年度以降の実施にあたり、検討すべき課題等があれば具体的に記載すること。
- 4 本報告書には、開催要項・参加者名簿・写真等を添付すること。